

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	1 -	事業名	公共交通事業	担当部課	市長公室経営企画課
------	-----	-----	--------	------	-----------

基本情報	総合計画	基本方針	2	リノモでにぎわい交流するまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	6	快適で便利な交通移動を確保する	款	2	総務費
		施策の進め方	3	交通の円滑化	項	1	総務管理費
	まちづくり 行程表	フラッグ	-		目	5	企画費
		政策分類	-		大事業	5	公共交通事業
	その他(関係法令、要綱等)	「道路運送法」、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」					
事業開始の背景、経緯等	平成17年3月にリノモが開業し、東西に公共交通の基盤軸が形成された。 リノモ、名鉄バス及びN-バスが一体となった利便性の高い公共交通サービスの提供が求められている。						

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ① 年間700万人以上が利用する地域の基幹的な交通基盤である、リノモ運営事業者(愛知高速交通(株))に対し、出資者間で協調し、経営支援を行う。 ② 地域公共交通の活性化を図り、地域にふさわしい公共交通を作り上げていくため、住民、交通事業者、行政など関係者みんなが集う「長久手市地域公共交通会議」を開催する。 ③ 愛知県及びリノモ沿線市と連携し、リノモを使ったイベントの実施や、リノモウォーキング等を実施する。						
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 公共交通利用者及び公共交通事業者						
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 自家用車から公共交通へ移動手段の転換を図る。						
	事業を構成する事務事業	① 東部丘陵線推進事業	休・廃止	④				
	② 地域公共交通会議事業	現状維持	⑤					
	③ リノモ活性化事業	現状維持	⑥					

コスト推移	項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	事業費(A)	千円	予算 決算	 	 	915,204 915,012	421,191 420,686	4,956
人件費(B)	千円	決算	 	 	6,493	8,020		
総コスト(A)+(B)	千円	決算	 	 	921,505	428,706		

成果推移	成果指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	A 市内公共交通利用者	人/日	目標	-	10,870	11,690	12,140	13,466
			実績	10,870	11,690	12,140	13,466	
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 長久手市地域公共交通網形成計画に掲げる目標値 対前年度比増加								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 他の市町においても、公共交通に関する協議会等を設け、公共交通の利用促進及び利用者の利便性向上に向けた取組を行っている。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 公共交通利用者数は増加傾向で推移しており、目標である「対前年度比増加」を達成している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 本市ではさらなる人口増加の見込みや、大規模な集客施設や住宅の建設が進行しており、渋滞の原因となる自動車移動からの転換を図る必要がある。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 利用者のニーズを把握し、利便性の高い公共交通サービスを提供するために、行政だけでなく、市民、交通事業者が一体となり、みんなで公共交通を育むことによって、地域にふさわしい公共交通を作りあげていく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 長久手市地域公共交通網形成計画(計画期間：平成28年度～平成30年度)に基づき事業を実施し、長久手市公共交通網形成計画で掲げる4つの目標の達成を目指す。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		公共交通事業										
番号	①	事務事業名	東部丘陵線推進事業		款	2	項	1	目	5	大	5	中	1
事務事業の期間		事務事業開始年度		平成26年度		終了（予定）年度		平成28年度						

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	対象：愛知高速交通(株) 手段：県、沿線市及び民間企業による金融支援等を実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 運行を担う愛知高速交通(株)の経営基盤を安定させる。

2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			911,000	417,000	0
		決算			911,000	417,000	

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		目標					
		実績					
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

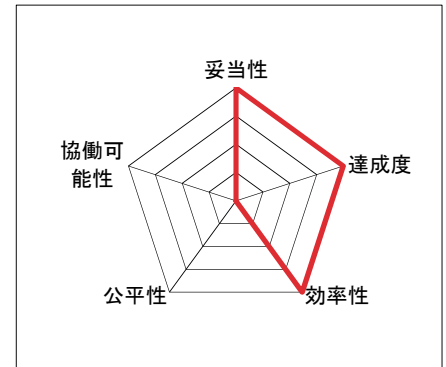
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
長久手市内の人口増加及びリニモ駅周辺の大型商業施設の開店等により、リニモ利用者は増加傾向にある。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
28年度も引き続き現金出資を行い、安定的な経営体制への移行を目指す。
(何をどのような状態に改善したのか)
現金出資を行い、愛知高速交通(株)の経営基盤を安定させた。

6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	4
効率性	4
公平性	-
協働可能性	-



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
金融支援等の結果、長期借入金は完済し、返済負担が解消された。

【ウィークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
特になし

7. 今後の方向性

休・廃止

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
減損処理の実施に伴う減価償却費の減少などにより、営業損益は平成27年度に黒字化し、当期純損益についても平成29年度に黒字の見込みとなっている。 愛知高速交通(株)の経営基盤が安定したため、平成28年度をもって「東部丘陵線推進事業」は一旦終了とする。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		公共交通事業									
番号	②	事務事業名	地域公共交通会議事業	款	2	項	1	目	5	大	5	中	2
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成20年度	終了（予定）年度	—								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	対象：市内公共交通利用者及び交通事業者 手段：市民、交通事業者、行政など関係者みんなが集う「長久手市地域公共交通会議」を開催する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	リニモ、名鉄バス及びNーバスが一体となった利便性の高い交通ネットワークを構築する

2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			3,579	3,566	4,956
		決算			3,387	3,186	

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
網形成計画（第2次総合連携計画）計画事業の実施件数	事業	目標	-	11	10	10	11
		実績	-	10	9	10	
	事業	目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

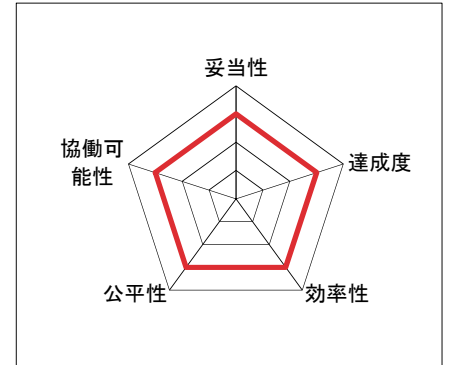
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
平成28年12月にイオンモール長久手店が開店し、平成29年10月にイケア長久手店の開店を控えており、公共交通の重要度は年々増している。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
長久手市第2次地域公共交通総合連携計画で掲げた計画事業を実施していく。平成26年度、平成27年度に達成できなかった項目については、目標を達成できるよう市民、交通事業者及び長久手市の3者間で協力しながら進めていく。
(何をどのような状態に改善したのか)
平成26年度、平成27年度に達成できなかった公共交通マップの作成については、長久手公共交通かわら版「のりゃあせ」の市民記者の提案で、乗継ぎポイントに念頭を置いた公共交通マップを作成し、「のりゃあせ第7号」に掲載した。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
本市の公共交通についての問題点等を共有し、公共交通の改善に活かすため、平成28年度から地域公共交通会議において「公共交通に関する意見交換」を議題に挙げ、自由意見を促す取組を行った。

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
特になし

7. 今後の方向性

現状維持

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
平成28年度は昨年度までの反省点を活かし、長久手市地域公共交通網形成計画の計画事業をすべて実施することができた。今後も長久手市地域公共交通網形成計画で掲げる将来像を目指し、行政、交通事業者及び市民で連携しながら、長久手市地域公共交通会議を開催することで、地域公共交通の活性化を図り、地域にふさわしい公共交通を作り上げていく。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		公共交通事業									
番号	③	事務事業名	リニモ活性化事業	款	2	項	1	目	5	大	5	中	3
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成17年度	終了（予定）年度	—								

1. 事務事業の目的

(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)	
対象・手段	対象：市内外の住民 手段：東部丘陵線連絡協議会（県と沿線市で構成）において、リニモ活性化を目的としたイベント等を開催する。
(対象をどのような状態にしたいか)	
意図	沿線地域の活性化及びリニモの利用促進を図る。

2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			625	625	0
		決算			625	500	

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
リニモ利用者数	人/年	目標	-	7,233	7,108	7,583	8,178
		実績	-	7,108	7,583	8,178	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

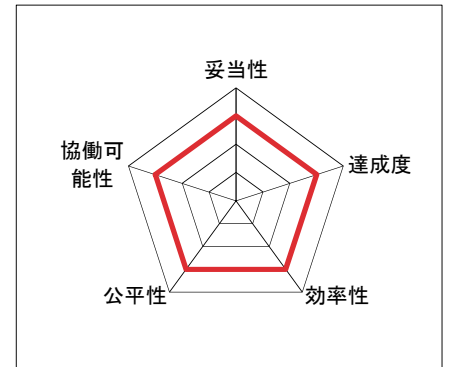
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
長久手市内の人口増加及びリニモ駅前の区画整理に伴う商業施設開店等により、リニモ利用者数は増加傾向にある。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント> 継続してイベントを実施しているが、イベント参加人数が頭打ちにきている感がある。イベント内容に新しい取組を入れる等工夫をこらすよう実施主体の東部丘陵線連絡協議会に改善を働きかけ、イベント参加者数の増加を狙い、リニモの利用者増に繋げていく。
(何をどのような状態に改善したのか) 平成28年度は、リニモウォーキングのゴール地点にイオンモール長久手店を設定するなど、これまでになかった新たな取組を行い、イオン来店者にも沿線でイベントを実施していることをアピールできた。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど) 平成18年度から平成28年度まで長きに渡り開催している、「リニモウォーキング」は未だに人気のイベントである。毎年定期的に開催し、リニモ利用者増に繋げていることを評価したい。

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど) 特になし

7. 今後の方向性

現状維持

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) イベントの改善や新しい取組などを今後も行い、沿線地域の活性化及びリニモの利用促進を図っていく。 平成29年10月頃に公園西駅周辺において、イケア長久手店の開店が予定されているため、コラボイベント等を企画し、参加者を飽きさせない工夫を凝らす。 ※平成29年度から予算科目を公共交通事業から企画事業へ変更したため、予算額は0としている。
--